

～使用事例② 群馬県吾妻郡～

標高は 800～1,400 メートル 約 4,000 ヘクタールの高原露地野菜の産地

レタス：7月下旬コフナ散布（元肥同時散布）15袋/反当り 8月下旬定植 9月下旬より収穫

白菜：7月下旬コフナ散布（元肥同時散布）15袋/反当り 8月中旬定植 10月中旬より収穫

キャベツ：4月上旬コフナ散布（元肥同時散布）15袋/反当り 4月下旬定植 7月中旬より収穫

月 旬	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
群馬県・北軽井沢		●		→	→	→	▲			→	→	→	■	■	■	■	■	■				■	●		▲			→	→	→	■	■	■			
レタス		播種						定植						収穫	収穫							コフナ散布15袋/反	播種		▲				収穫	収穫						
群馬県・北軽井沢																						■	■		▲			→	→	→	■					
白菜(秋理想)																						コフナ散布15袋/反	元肥散布		▲							収穫				
群馬県・北軽井沢										■	■		▲			→	→	→																		■
キャベツ(彩里)										コフナ散布15袋/反	元肥散布	定植																								コフナ散布15袋/反

※品種は資料作成時のもの



* 群馬県北軽井沢町は同一圃場での二毛作体系

ねらい：安定継続出荷が可能な栽培体系を確立するために、

土壌病害である根こぶ病対策として作付け前の土壌に散布する栽培体系を試みた。

1. 実施効果を求めるため定植までの処理期間を多くとることにし散布効果を求めた。
(白菜)
2. 低温期の有機物分解促進の散布効果を求めた。(キャベツ)
3. 生育促進の散布効果を求めた。(レタス)
- 4.

結果：コフナ散布を実施した場合は白菜・キャベツに根こぶ病抑制がみられた。

コフナ使用量：各15袋/反

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
白菜		◎	▲	-----○	▲	○	▲	○			
	コフナ散布	定植	亜リン酸散布 約1週間間隔	収穫	定植	収穫					
とうもろこし			▲			○					
キャベツ		▲				○					
レタス		◎			▲		-----○				
		コフナ散布			定植		収穫				

2期作目に生産の安定の為この時期にもコフナを

高温が続く場合亜リン酸を散布

コフナ使用試験状況

